

第24・25号

2025年 4月20日

発行 石川県柔道連盟

編集 広報委員



県柔連会長
中西 茂宏

能登半島地震から1年が経過して

2024年1月1日、能登半島沖を震源地とする大地震が発生し、約1年経過した12月時点で、石川県における被害状況は死者約450人、負傷者約1,700人、住家被害は合計で約93,000棟の被害状況となっています。柔道関係者では、人的被害はなかったものの住家の被害に見舞われました。さらに9月には記録的な豪雨が能登半島を襲い、相次ぐ災害に多くの柔道関係者が胸を痛めました。

地震発生当時から現在にかけて、全国各地から安否確認や温かい励ましの言葉を数多くかけていただき、また、多大なる支援をいただいたことに対し、心から感謝いたします。

いただいた多大な支援の全体像について、この誌面上で皆さんに報告をさせていただきます。

1. 全国各地からの支援（1）

全国各地から、県柔道連盟や県中体連、県高体連に対し支援金を頂戴しました。総額で500万円を超える大きな支援となりました。支援金につきましては、被災した団体、指導者、選手の柔道衣の購入、県内外への出稽古や大会出場における旅費、練習施設使用料を中心に、能登地区の方々の柔道活動の継続を目的とし活用しました。

2. 全国各地からの支援（2）

多くの柔道家の皆さまが石川県に足を運んでくださり、また各地にご招待いただき交流していただきました。

①全日本柔道少年団交流合宿

2024年3月に講道館にて行われました。輪島柔道教室、雄志館、志賀町少年柔道教室、中能登少年柔道教室から選手29名・引率者3名で参加させていただきました。また、参加した29名の児童・生徒に、揃いの柔道着をプレゼントしていただき、子供たちは大変喜び、笑顔を見せていました。

②QUMANOMI支援活動

スポーツ交流 2024年4月に男性コーラスグループ、QUMANOMI（クマノミ）さまが主催された支援活動の一環で、羽咋市柔道館で井上康生先生、谷本歩実先生による柔道教室が行われました。

③阿部一二三選手とのオンライン交流

2024年8月に日本オリンピック委員会主催で、輪島市の小学生から高校生までのあわせで8人が参加しました。子どもたちが住む穴水町の自宅とパリをオンラインでつなぎ、金メダルを獲得して間もない阿部一二三選手が登場し、子どもたちと交流していただきました。

④日本大学柔道部柔道教室

2024年8月に日本大学柔道場にて行われました。3月の講道館での柔道交流合宿に参加できなかった全日本柔道少年団七尾分団の児童・生徒らが参加させていただきました。日本大学OB・リオデジャネイロオリンピック男子100kg超級銀メダルの原沢久喜選手が講師を務め、内股の講習や乱取り等が実施

されました。地元の武道館が使用できない七尾分団の生徒たちには、とても有意義な経験となりました。

⑤羽田タートルサービス柔道教室

2024年10月に羽田タートルサービスさまの主催、松柔会（東海大学柔道部OB会）さまの主管による柔道教室が行われました。上水研一朗先生、井上康生先生、村尾三四郎選手が講師としてお越しいただき、午前は中学生、午後は小学生と併せて300人を超える参加となりました。選手のみならず保護者も大喜びで笑顔の絶えない1日となりました。

⑥TEAM JAPAN SPORTS DAY 能登半島復興支援交流イベント

2024年11月にレスリング女子でオリンピック2連覇の金城梨紗子選手、阿部一二三選手、阿部詩選手が輪島市立輪島中学校を訪れてくれました。イベントでは小学生と綱引きや玉入れを行ない、柔道の子ども達も笑顔で参加していました。

⑦講道館杯応援ツアー

2024年11月にコマツさまのご支援により、能登の少年たちが講道館杯の応援に参加しました。テレビでみる選手たちがたくさんいる会場に驚きを隠せず、刺激的な1日になったようです。

⑧中村兼三先生、塘内将彦先生柔道教室

2025年1月に行われた石川県中体連強化合宿に併せて、お二方が来県し、柔道教室をしていただきました。

⑨全日本柔道連盟アスリート委員会主催 能登半島地震復興支援イベント

2025年3月に全柔連アスリート委員会から7名の選手・先生が来県し、「安全なころび方と柔道体験」「トークショー」「柔道教室」が志賀町総合武道館で行われました。過去最大数の講師によるイベントでしたが、終始和やかな雰囲気で行われました。

⑩教室間での支援

他にも柔道教室間の繋がりや、多くの団体さまが能登まで支援のために足を運んでくださいました。

3. 現状

震災から1年と少々が経過した現在、「復旧は進んでいる」とは言い難い状況です。しかし、そのような状態であっても、指導者たちは柔道を止めず、むしろ震災前よりも活発に活動しているようにすら感じられます。本拠地での活動が再開できた教室、新たな場所を見つけ活動を戻そうと動き出した教室もあります。一方、地震発生日の状態のまま、活動場所が使用できず、出稽古中心の活動をせざるを得ない教室もあります。まだ頻繁に能登地区では地震があり、大変な状況であることには違いありませんが、「柔道」という絆を感じられる日常を過ごしています。

4. 今後の展望

我々ができることは1つしかありません。「柔道を通じた持続可能なコミュニティの形成」です。その達成には、継続的な人材育成は欠かせません。「当たり前のように過ごしてきた環境が、実は当たり前ではなかった」ということを、私も含め多くの関係者は今回強く感じたことでしょう。それは稽古ができること、仲間と集まること、温かいご飯を食べること、親から送迎してもらえることなどです。そして、それらは実は多くの方々の支援があってこそ成り立っていました。

近年、世の中は何をするにも便利になり、自ら求めなくても与えられることも増えてきましたが、それによる弊害を感じることも少なからずありました。本県の関係者は今回の震災を経て、辛いことも数多く経験しましたが、日本全国の柔道家の皆様の優しさに触れ、多くの励ましをいただくなど、当たり前で過ごしていたはできない経験もしました。

これらは、今後の人生において活かされるものであると確信しています。強さと優しさを兼ね備えた柔道家の育成を継続していくことで、「世を補益する」ことができるようになると思います。今回受けた恩をしっかりと返せるように引き続き県一丸となり頑張りたいと思います。

石川県柔道連盟 会長
中西茂宏

長崎桂子先生に旭日単光章 授与

令和5年4月29日、長崎桂子先生が旭日単光章を授与されました。

また、先生の受章をうけ、令和5年7月30日に受章記念祝賀会が金沢東急ホテルにて開催されました。長崎先生、おめでとうございます。



長崎桂子先生
講道館女子柔道七段

長崎桂子先生のあゆみ

長崎桂子先生は、13歳から柔道をはじめ、昭和52年から北信越柔整専門学校にて非常勤講師となり、翌昭和53年に第1回全国女子柔道選手権大会に出場し、選手宣誓を務める栄誉を果たしました。

平成18年には、第8回世界マスターズ柔道大会（フランス）では、投げの形優勝、五の形準優勝、個人戦準優勝の大活躍。（平成16～24年の9年間日本マスターズ柔道大会に出場）

選手としての輝かしい戦績の傍ら、全日本女子体重別選手権、福岡国際女子柔道選手権大会等の審判員や、7種類の形審査資格を保有し、全日本形競技選手権等で審査員として、また、形競技にを目指す者、昇段を目指す者、審査員を目指す指導者など、あらゆる角度から柔道に携わってこられました。

特筆すべきは、女子柔道の普及に従い廃れていった「柔道舞踊」の復活に尽力し、今もなお普及につとめられています。

主な受賞歴

- ・H19：柔無涯賞（県柔連）
- ・H20：石川県体育功労者表彰（県体育協会）
- ・H21：特別功労者表彰（県柔連）
- ・H29：生涯スポーツ功労者表彰（県柔連）
- ・H30：生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣）
- ・R2：スポーツ文化活動表彰（金沢市長）

石川県柔道連盟における役職

- ・理事（H12より10年間）
- ・常任理事（H22より6年間）
- ・副会長（H28より6年間）
- ・女性部会会長（H19より9年間）

受章記念祝賀パーティーの様子（令和5年7月30日 於：金沢東急ホテル）



長崎先生、受章のご挨拶



柔道舞踊の披露



上田前会長、長崎先生、馳知事

令和6年能登半島地震後、能登の柔道教室の経過

令和6年元旦に発災した令和6年能登半島地震により、能登地区をはじめ、県内多くの地域が被害を受け、柔道教室にも大きな影響を及ぼしました。

被害が殊更大きかった地域から、輪島、志賀町、七尾の少年柔道の監督さんにコメントをいただきました。

輪島柔道教室の今 監督 井筒庸允



令和6年1月1日に大きな地震が石川県を襲いました。石川県の柔道関係者のみならず、他県のチームからも、多くの励ましの言葉や大きなお力添えを頂きました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

輪島柔道教室の拠点である輪島武道館は、地震により被害を受け、稽古場を失いました。令和7年3月時点でも、まだ復旧の目途は立っていません。発災直後は、柔道をしている場合ではなく、避難所で生活をしたり、生まれ育った能登からやむを得ず避難したり、皆が生きることによって精いっぱいでした。このような状況でしたが、離れ離れになったみんなをもう一度繋げたのは、みんなが大好きな「柔道」でした。邑知少年柔道教室のお声がけ

により、能登のチームが羽咋の柔道場に集まり、再会することができました。人と人を繋げてくれる柔道のすばらしさを感じるとともに、子どもたちや先生方の顔を見ることができたこと、道着を着て子どもたちと柔道ができたこと、あの日の喜びは今でも忘れません。本当にありがとうございました。

現在は、穴水中学校の体育館内にある柔道場と羽咋市武道館で、練習を再開することができました。子どもたちが、感謝の気持ちを持って社会貢献できる人になってほしいという願いを込めて「学校や家庭、道場など、どんな場所でもいい。どんな小さなことでもいいから、だれかの役に立てるような人になろう。困っている人に気づき、優しい心を持って助けられる人になろう。」と伝えています。子どもたちが、感謝の気持ちを忘れず、精力善用・自他共栄の精神を持ち、社会に役に立てるように指導していきたいと思っています。

志賀町少年柔道教室の今 監督 加藤孝之

令和6年1月1日の能登半島地震で志賀町は震度7の揺れを記録しました。当教室が活動拠点にしている志賀町総合武道館は1月1日から3日まで避難所として使用され、その



後は天井や壁が崩落する危険があると判断されたため立ち入り禁止になりました。練習する場所がなくなり再開目途の立たない活動休止期間に入ったときの絶望感は今でも覚えています。そんなとき邑知少年柔道教室さんから一緒に練習しませんか？と声をかけていただきました。とてもありがたかったのですが生活自体がままならない状況のときに練習を再開すべきか悩みました。他指導者や諸先輩方に相談し、悩んだ結果、柔道をしたい子供たちのために邑知さんのお誘いをお受けしました。チーム能登として一緒に練習した日々は子供たちにとってかけがえのないものとなりました。

発災直後からご支援をしてくれた各先生方、交流合宿を開催してくれた講道館様、復興支援イベントを開催してくれた全日本柔道連盟様、志賀町に関わっていただいた全ての方に感謝しています。これからも感謝の気持ちを忘れずに子供たちと練習していきます。

全日本柔道少年団七尾分団の今 監督松本尊紀法

能登半島地震から1年が過ぎ、七尾市武道館は依然として使用できない状況が続いています。子供たちは、大切な練習場所を失



い、心細い思いをしていることでしょう。しかし、そのような困難な状況下でも、他教室の協力によって練習場所を確保し、武道への情熱を繋いでいる姿は、私たちに希望を与えてくれます。

慣れない場所での練習は、子供たちにとって様々な苦労もあるかもしれませんが、それでも、仲間と共に汗を流し、技を磨くことで、心身ともに成長していくはずです。また、他教室との交流は、新たな友情や学びの機会にも繋がるでしょう。

一日も早く七尾市武道館が再建され、子供たちが安心して練習に打ち込める日が来ることを願っています。それまでの間、地域の温かい支え合いが、子供たちの成長を力強く後押ししてくれることを信じています。

小学生時代から鎬を削ってきた3人がトリオで全中3位入賞！

小学校の低学年の頃から、県内でベスト4の一角をそれぞれ担ってきた3人の選手が、令和6年度全国中学校柔道大会（長野県開催）で、それぞれの階級で3位に入賞しました。おめでとうございます！



-60 kg級
高尾台中 3年
佐野琉斗選手



-66 kg級
笠間中 3年
辻 慈吾選手



-73 kg級
邑知中 3年
酒井政佳選手

私は、長野県で開催された全国中学校柔道大会に出場しました。大会では、ベスト4に入りたいという目標を掲げて、練習に打ち込んでいました。準決勝では、負けてしまい悔しい思いもしましたが、全国3位となり努力を続ける事の大切さを学びました。そして、全国大会に出場出来た事を誇りに思います。

全国大会を終えてこれまで一緒に練習してきた仲間達、指導して下さった監督やコーチ、家族に感謝しています。

小学生で、コロナ禍を経験し柔道の練習ができる事、試合がある事が当たり前ではない事もありました。練習や試合ができる恵まれた環境がある事の有り難さを忘れず、さらに自分を磨き、高いレベルで練習に励みたいと思っています。

これからも、応援よろしく願います。

僕は第55回全国中学校柔道大会男子66kg級で3位でした。この結果を踏まえコーチ、先生方、家族のみんな関係者には感謝しきれないくらい感謝しています。3歳から柔道を教えてくださった中田先生、中学校から3年間柔道を教えてくれた桑田コーチ、これまでやってきた成果が出たと思います。本当にありがとうございます。

小さい頃から柔道をしてきた同級生と全国の舞台で結果を出して柔道をやってきて良かったなと感じました。またこれから高校で日本一を目指し頑張りたいと思います。

これから全国相手に戦う1.2年生は自信を持って試合に臨んでください。絶対に石川県のレベルは上がっていると思うのでこれからのご活躍を願っています。

私は長野県で行われた全国中学校柔道大会で3位になることができました。私は、日本一になるという目標を掲げて毎日の練習励みしました。しかしその目標を達成することはできませんでした。全国3位という結果に終わり嬉しい気持ちも悔しい気持ちもあります。高校では絶対日本一になってみたいです。

今まで指導して下さった先生方、身近でサポートしてくれた家族、一緒に頑張ってくれたチームメイトに本当に感謝しています。高校でも感謝の気持ちを忘れず、仲間や先生方を信じて目標に向かって頑張りたいと思います。

中学生のみなさんは、目標や夢に向かって諦めず、自分を信じられるくらいまで努力して目標や夢を叶えてください。応援しています。

2023 年世界柔道形選手権大会 U-23 固めの形 準優勝

2023 年 10 月 28-29 日にアラブ首長国連邦・アブダビにて 2023 年世界柔道形選手権大会が開催され、取・三上 蒼空選手（金沢学院大学 4 年）、受・中村信音選手（金沢学院大学 3 年）が U-23 固の形で見事準優勝を果たしました。



数々の大会で優勝・入賞を獲得！世界に羽ばたく湊田萌生選手

2024 講道館杯優勝、グランドスラム東京準優勝など、世界を舞台に活躍する湊田萌生選手（自衛隊体育学校）。2025 年開催の世界選手権では団体戦メンバーに選出されました。



湊田選手のコメント

令和 6 年能登半島地震により被害にあわれた方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。1 日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

令和 6 年度はこれまで努力してきたことが少しずつ成果となって現れた 1 年でした。また国際大会を経験することでオリンピックに対する思いをより一層高めることになりました。

振り返ると大学卒業後、思うような結果を残すことができず、歯がゆい日々を過ごすことが多かったのですが、そのような中でも常に温かい声を掛け励ましてくださった恩師をはじめ、共に汗を流した仲間や後輩たちの存在が励みとなりました。改めて地元である石川県に育ててもらっていることを実感し、勇気を与えてもらいました。

石川県の皆さんに結果で恩返しができるよう今後更に努力し、オリンピック出場の目標に頑張っていきます。引き続き応援の程、よろしくお願いします。

経歴

石川県野々市市出身
鶴来坂田道場―白山市立北辰中学校―
石川県立津幡高等学校―山梨学院大学―
自衛隊体育学校

戦績

2024	講道館杯全日本体重別選手権大会	57 kg級	優勝
2024	グランドスラム東京大会	57 kg級	2 位
2025	グランドスラム パリ	57 kg級	3 位
2025	全日本選抜柔道体重別選手権大会	57 kg級	2 位
2025	世界選手権大会	団体戦	出場

令和5年・令和6年 大会成績

＜ 小 学 生 ＞

◆第20回 全国小学生学年別柔道大会石川県大会

R5/6/18 松任総合運動公園文化体育館啓武館

男子個人	小学5年	45kg級	優勝	廣田 大吉（全日本柔道少年団小松分団）
	小学5年	45kg超級	優勝	松浦 祐樹（邑知少年柔道教室）
	小学6年	50kg級	優勝	田邊 皓盛（窪田柔道倶楽部）
	小学6年	50kg超級	優勝	北野 誠大（中能登柔道教室）
女子個人	小学5年	40kg級	優勝	西田 莉衣桜（窪田柔道倶楽部）
	小学5年	40g超級	優勝	西出 雛乃（全日本柔道少年団小松分団）
	小学6年	45kg級	優勝	根布原 恋楓（中能登柔道教室）
	小学6年	45kg超級	優勝	西出 雛乃（全日本柔道少年団小松分団）

◆第21回 石川県小学生学年別柔道大会

R6/6/23 石川県立武道館

小学1年男女混合	軽量級	優勝	松木 侑生（全日本柔道少年団七尾分団）
小学1年男女混合	重量級	優勝	片上 奈帆子（窪田柔道倶楽部）
小学2年男女混合	軽量級	優勝	裏 凌乃介（志賀町少年柔道教室）
小学2年男女混合	重量級	優勝	林 慶次朗（田中鍊正塾）
小学3年男女混合	軽量級	優勝	山本 龍冬（中能登柔道教室）
小学3年男女混合	重量級	優勝	嶋中 環奈（全日本柔道少年団小松分団）
小学4年男子	軽量級	優勝	坂井 舶人（鶴来坂田道場）
小学4年男子	重量級	優勝	山根 明青（全日本柔道少年団小松分団）
小学4年女子	軽量級	優勝	房 玲依奈（全日本柔道少年団小松分団）
小学4年女子	重量級	優勝	裏 ぼたる（志賀町少年柔道教室）
小学5年男子	45kg級	優勝	吉野 颯馬（邑知少年柔道教室）
小学5年男子	45kg蠟	優勝	中山 永宝（松任柔道スポーツ少年団）
小学5年女子	40kg級	優勝	村尾 苺香（全日本柔道少年団小松分団）
小学5年女子	40kg蠟	優勝	宮森 凜々羽（輪島柔道教室）
小学6年男子	50kg級	優勝	三崎 真芭（鶴来坂田道場）
小学6年男子	50kg蠟	優勝	松浦 祐樹（邑知少年柔道教室）
小学6年女子	45kg級	優勝	西田 莉衣桜（窪田柔道倶楽部）
小学6年女子	45kg蠟	優勝	嶋中 環希（全日本柔道少年団小松分団）

◆第48回石川県少年少女柔道大会

R5/11/12 石川県立武道館

団体戦7人制の部			
優勝	松任柔道スポーツ少年団	2位	鶴来坂田道場
3位	邑知少年柔道教室	3位	全日本柔道少年団小松分団
5位	窪田柔道倶楽部		
団体戦高学年3人制の部			
優勝	全日本柔道少年団七尾分団A	2位	中能登柔道教室A
3位	松任柔道スポーツ少年団	3位	窪田柔道倶楽部A
団体戦低学年3人制の部			
優勝	鶴来道場	2位	鶴来坂田道場
3位	志賀町少年柔道教室B	3位	全日本柔道少年団小松分団A

◆第48回石川県少年少女柔道大会

R5/11/12 石川県立武道館

団体戦7人制の部			
優勝	松任柔道スポーツ少年団	2位	鶴来坂田道場
3位	邑知少年柔道教室	3位	全日本柔道少年団小松分団
5位	窪田柔道倶楽部		
団体戦高学年3人制の部			
優勝	全日本柔道少年団七尾分団A	2位	中能登柔道教室A
3位	松任柔道スポーツ少年団	3位	窪田柔道倶楽部A
団体戦低学年3人制の部			
優勝	鶴来道場	2位	鶴来坂田道場
3位	志賀町少年柔道教室B	3位	全日本柔道少年団小松分団A

◆第49回石川県少年少女柔道大会

R6/11/10 石川県立武道館

団体戦7人制の部			
優勝	全日本柔道少年団小松分団	2位	鶴来坂田道場
3位	松任柔道スポーツ少年団	3位	邑知少年柔道教室 A
5位	窪田柔道倶楽部		
団体戦高学年3人制の部			
優勝	松任柔道スポーツ少年団A	2位	輪島柔道教室
3位	窪田柔道倶楽部	3位	全日本柔道少年団小松分団A
団体戦低学年3人制の部			
優勝	全日本柔道少年団小松分団A	2位	全日本柔道少年団小松分団C
3位	全日本柔道少年団小松分団B	3位	松任柔道スポーツ少年団

◆第44回全国少年柔道大会石川県予選大会 結果

R5/3/10 石川県立武道館

団体戦	優勝	邑知少年柔道教室	2位	全日本柔道少年団七尾分団
	3位	鶴来坂田道場	3位	松任柔道スポーツ少年団
男子個人			女子個人	
小学3年 優勝 山根 明青（小松）			小学3年 優勝 廣田 菜々花（小松）	
小学4年 優勝 中山 永宝（松任）			小学4年 優勝 宮森 凜々羽（輪島）	
小学5年 優勝 松浦 祐樹（邑知）			小学5年 優勝 嶋中 環希（小松）	
小学6年輕量級 優勝 田邊 皓盛（窪田）			小学6年輕量級 優勝 土田 葉月（犀川）	
小学6年中量級 優勝 中村 舷喜（七尾）			—	
小学6年重量級 優勝 一瀬 陽仁（七尾）			小学6年重量級 優勝 西出 雛乃（小松）	

◆第45回全国少年柔道大会石川県予選大会 結果

R6/3/9 石川県立武道館

団体戦	優勝	邑知少年柔道教室	2位	鶴来坂田道場
	3位	窪田柔道倶楽部	3位	松任柔道スポーツ少年団
男子個人			女子個人	
小学3年 優勝 中村 凱（鶴来）			小学3年 優勝 嶋中 環奈（小松）	
小学4年 優勝 山根 明青（小松）			小学4年 優勝 裏 ぼたる（志賀町）	
小学5年 優勝 中山 永宝（松任）			小学5年 優勝 宮森 凜々羽（輪島）	
小学6年輕量級 優勝 竹中 空羽（七尾）			小学6年輕量級 優勝 西田 莉衣桜（窪田）	
小学6年中量級 優勝 廣田 大吉（小松）			—	
小学6年重量級 優勝 松浦 祐樹（邑知）			小学6年重量級 優勝 藤本 桃朶（松任）	

大会成績

< 中 学 生 >

◆第66回 石川県中学校柔道大会

R5/7/15～16 石川県立武道館

男子団体 優勝 笠間中 2位 邑知中 3位 北辰中 3位 高尾台中	
女子団体 優勝 笠間中 2位 邑知中 3位 中能登中 3位 小松市柔道協会	
男子個人	女子個人
50kg級 優勝 坂井 悠人 (北辰中)	40kg級 優勝 福村 来華 (鶴来中)
55kg級 優勝 松平 泉 (笠間中)	44kg級 優勝 平 梨乃 (笠間中)
60kg級 優勝 本吉 陸玖 (邑知中)	48kg級 優勝 三崎 せれな (北辰中)
66kg級 優勝 池田 空羽太 (笠間中)	52kg級 優勝 川端 優希菜 (高尾台中)
73kg級 優勝 廿日岩 瑛太 (北辰中)	57kg級 優勝 坂 明音 (笠間中)
81kg級 優勝 濱野 真咲 (笠間中)	63kg級 優勝 吉野 真桜 (邑知中)
90kg級 優勝 松本 光平 (笠間中)	70kg級 優勝 藤本 春菜 (笠間中)
90kg超級 優勝 佐渡谷 一輝 (県武)	70kg超級 優勝 山森 陽菜 (中能登中)

◆第44回北信越中学校総合体育大会柔道競技

R5/8/4 松任総合運動公園体育館

男子団体 2位 笠間中	
女子団体 3位 邑知中、笠間中	
男子個人	女子個人
50kg級 2位 坂井 悠人 (北辰中)	40kg級 3位 村 姫花 (笠間中)
55kg級 ー	44kg級 3位 平 梨乃 (笠間中)
60kg級 3位 本吉 陸玖 (邑知中)	48kg級 優勝 三崎 せれな (北辰中)
66kg級 優勝 柿島 音 (高尾台中)	2位 大西 碧 (笠間中)
3位 池田 空羽太 (笠間中)	52kg級 3位 川端 優希菜 (高尾台中)
73kg級 廿日岩 瑛太 (北辰中)	57kg級 優勝 坂 明音 (笠間中)
3位 前田 源太 (中能登中)	63kg級 3位 吉野 真桜 (邑知中)
3位 酒井 政佳 (邑知中)	原田 芽衣 (笠間中)
81kg級 優勝 濱野 真咲 (笠間中)	70kg級 優勝 藤本 春菜 (笠間中)
81kg級 ー	70kg超級 2位 山森 陽菜 (中能登中)
90kg超級 優勝 寺下 仁悠 (高尾台中)	3位 中野 里衣菜 (北辰中)

◆第54回全国中学校柔道大会

R5/8/17～20 鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール (徳島県)

男子団体 笠間中 2勝0敗 予選リーグ ②-2 下吉田 (山梨県) 3-1長洲 (大分県) 決勝トーナメント1回戦 0-3 阿波 (徳島県)	
女子団体 笠間中 0勝2敗 戦績 予選リーグ敗退 予選リーグ 0-2 大曲 (秋田県) 1-2平塚柔道協会 (神奈川県)	
男子個人	女子個人
50kg級 坂井 悠人 (北辰中) 3回戦敗退	40kg級 福村 来華 (鶴来中) 1回戦敗退
55kg級 松平 泉 (笠間中) 2回戦敗退	44kg級 平 梨乃 (笠間中) 2回戦敗退
60kg級 本吉 陸玖 (邑知中) 3回戦敗退	48kg級 三崎 せれな (北辰中) 3回戦敗退
66kg級 池田 空羽太 (笠間中) 3回戦敗退	52kg級 川端 優希菜 (高尾台中) 2回戦敗退
73kg級 廿日岩 瑛太 (北辰中) 3回戦敗退	57kg級 坂 明音 (笠間中) 2回戦敗退
81kg級 濱野 真咲 (笠間中) 3回戦敗退	63kg級 吉野 真桜 (邑知中) 2回戦敗退
90kg級 松本 光平 (笠間中) 1回戦敗退	70kg級 藤本 春菜 (笠間中) 3位
90kg超級 佐渡谷 一輝 (県武) 2回戦敗退	70kg超級 山森 陽菜 (中能登中) ベスト8

◆第67回 石川県中学校柔道大会

R6/7/13～14 石川県立武道館

男子団体 優勝 邑知中 2位 北辰中 3位 高尾台中 3位笠間中	
女子団体 優勝 邑知中 2位 高尾台中 3位 笠間中 3位 北辰中	
男子個人	女子個人
50kg級 優勝 堅田 寅二郎 (高尾台中)	40kg級 優勝 村 姫花 (笠間中)
55kg級 優勝 釜谷 爽太郎 (金沢学院クラブ)	44kg級 優勝 竹田 朱那 (七尾市柔道協会)
60kg級 優勝 佐野 琉士 (高尾台中)	48kg級 優勝 大西 碧 (笠間中)
66kg級 優勝 辻 慈吾 (笠間中)	52kg級 優勝 深谷 芽生 (高尾台中)
73kg級 優勝 酒井 政佳 (邑知中)	57kg級 優勝 中畠 美月 (邑知中)
81kg級 優勝 古谷 周太郎 (高尾台中)	63kg級 優勝 吉野 真桜 (邑知中)
90kg級 優勝 出口 大稀 (笠間中)	70kg級 優勝 生田 彩恵 (県武)
90kg超級 優勝 松浦 孝祐 (邑知中)	70kg超級 優勝 中野 里衣菜 (北辰中)

◆第45回北信越中学校総合体育大会柔道競技

R6/8/8 謙信公武道館 (新潟県)

男子団体 2位 邑知中	
女子団体 3位 邑知中	
男子個人	女子個人
50kg級 3位 森田 有星 (能美柔道クラブ)	40kg級 2位 村 姫花 (笠間中)
55kg級 2位 釜谷 爽太郎 (金沢学院クラブ)	44kg級 優勝 竹田 朱那 (七尾市柔道協会)
60kg級 優勝 佐野 琉士 (高尾台中)	48kg級 3位 大西 碧 (笠間中)
66kg級 優勝 辻 慈吾 (笠間中)	52kg級 ー
73kg級 優勝 酒井 政佳 (邑知中)	57kg級 3位 中畠 美月 (邑知中)
81kg級 3位 古谷 周太郎 (高尾台中)	63kg級 優勝 吉野 真桜 (邑知中)
90kg超級 ー	70kg級 優勝 生田 彩恵 (県武)
90kg超級 3位 松浦 孝祐 (邑知中)	70kg超級 ー

◆第55回全国中学校柔道大会

R6/8/20～23 長野県立武道館 (長野県)

男子団体 邑知中 1勝1敗 戦績 予選リーグ敗退 予選リーグ 1-3北九州城南 (福岡県) 3-2山形第三 (山形県)	
女子団体 邑知中 0勝2敗 戦績 予選リーグ敗退 予選リーグ 1-2西郷 (島根県) ①-1松阪市武道館 (三重県)	
男子個人	女子個人
50kg級 堅田 寅二郎 (高尾台中) 1回戦敗退	40kg級 村 姫花 (笠間中) ベスト8
55kg級 釜谷 爽太郎 (金沢クラブ) 3回戦敗退	44kg級 竹田 朱那 (七尾市柔道協会) 2回戦敗退
60kg級 佐野 琉士 (高尾台中) 3位	48kg級 大西 碧 (笠間中) 2回戦敗退
66kg級 辻 慈吾 (笠間中) 3位	52kg級 深谷 芽生 (高尾台中) 2回戦敗退
73kg級 酒井 政佳 (邑知中) 3位	57kg級 中畠 美月 (邑知中) 3回戦敗退
81kg級 古谷 周太郎 (高尾台中) 2回戦敗退	63kg級 吉野 真桜 (邑知中) ベスト8
90kg級 出口 大稀 (笠間中) 1回戦敗退	70kg級 生田 彩恵 (県武) ベスト8
90kg超級 松浦 孝祐 (邑知中) 1回戦敗退	70kg超級 中野 里衣菜 (北辰中) 3回戦敗退

＜ 中 学 生 ＞

◆第18回 中学生柔道錬成石川大会

R5/12/2 松任総合運動公園文化体育館啓武館

団体男子Ⅰ部 1位 高尾台中 団体男子Ⅱ部 2位 輪島中 3位 内灘中
団体女子Ⅰ部 1位 邑知中 3位 清泉中・宝達中・七尾市柔道協会 団体女子Ⅱ部 1位 内灘中 2位 松任・野々市・布水中 3位 北辰中、額中

◆第23回 石川県中学生新人柔道大会

⇒能登半島地震のため、大会中止。

◆第19回 中学生柔道錬成石川大会

R6/12/7 石川県立武道館

団体男子Ⅰ部 2位 北辰中 3位 鶴来中 団体男子Ⅱ部 1位 河北台・津幡中 2位 金沢学院クラブ・布水中 3位 宝達中・七尾地柔道協会、能美柔道クラブ
団体女子Ⅰ部 1位 笠間中 2位 邑知中 団体女子Ⅱ部 2位 北辰・内灘 3位 額・羽咋・輪島

◆第24回 石川県中学生新人柔道大会

R6/2/1 松任総合運動公園文化体育館啓武館

男子団体 優勝 北辰中 2位 鶴来中 3位 高尾台中 3位 邑知中			
女子団体 優勝 笠間中 2位 石川県立武道館 3位 邑知中 3位 北辰中			
男子個人		女子個人	
50kg級 優勝 寺井 誠也（邑知中）		40kg級 優勝 中村 柚稀（北辰中）	
55kg級 優勝 濱野 孜希（笠間中）		44kg級 優勝 村 姫花（笠間中）	
60kg級 優勝 松川 勇志（津幡中）		48kg級 優勝 竹田 朱那（七尾市柔道協会）	
66kg級 優勝 山崎 康喜（北辰中）		52kg級 優勝 吉野 結（邑知中）	
73kg級 優勝 吉田 寛智（鶴来中）		57kg級 優勝 柿島 あん（高尾台中）	
81kg級 優勝 北井 琥太郎（鶴来中）		63kg級 優勝 西出 雛乃（笠間中）	
90kg級 優勝 廿日岩 逞馬（北辰中）		70kg級 優勝 生田 彩恵（石川県立武道館）	
90kg超級 優勝 松本 陽向（邑知中）		70kg超級 優勝 小坂 愛心（松任中）	

＜ 高 校 生 ＞

◆令和5年度 第31回石川県高等学校春季柔道大会

R5/4/23 石川県立武道館

団体男子Ⅰ部 1位 津幡B 2位 津幡B 3位 金沢A、金沢B 優秀選手 野澤敦貴（津幡）、浅田峻輔（津幡）、 室木陽幸（金沢）、西崎 昊（金沢）
団体男子Ⅱ部 1位 鶴来 2位 学院大附属 3位 羽咋工業、羽咋
団体女子 1位 津幡A 2位 津幡B 3位 金沢A、金沢B 優秀選手 林 弘華（津幡）、新木美紅（津幡）、 大河内結衣（金沢）、中野里緒菜（金沢）

◆令和5年度 石川県高等学校総合体育大会柔道競技

R5/6/1～3 石川県立武道館

"男子団体 優勝 津幡 2位 金沢 3位 鶴来 3位 金沢学院大学附属 女子団体 優勝 津幡 2位 金沢 3位 金沢学院大学附属 3位 小松大谷"				
男子個人			女子個人	
60kg級 優勝 廣瀬 大和（津幡）			48kg級 優勝 山崎 吏乃（津幡）	
66kg級 優勝 野澤 敦貴（津幡）			52kg級 優勝 新木 美紅（津幡）	
73kg級 優勝 倉又 龍心（津幡）			57kg級 優勝 谷内 美裕（鶴来）	
81kg級 優勝 山森 裕翔（津幡）			63kg級 優勝 桑原 心胡（津幡）	
90kg級 優勝 堀 隼陽人（津幡）			70kg級 優勝 中野里緒菜（金沢）	
100kg級 優勝 松井颯士朗（津幡）			78kg級 優勝 林 弘華（津幡）	
100kg超級 優勝 生田恵樹（津幡）			78kg超級 優勝 林 莉帆（津幡）	

◆令和6年度 第32回石川県高等学校春季柔道大会

R5/4/23 石川県立武道館

"団体男子Ⅰ部 1位 津幡A 2位 金沢 3位 小松大谷、県立工業A 優秀選手 深谷悠聖（津幡）、坂井梧（金沢）、 土田賢太（小松大谷）、谷村昊紀（県立工業）"
団体男子Ⅱ部 1位 鶴来A 2位 羽咋工業 3位 金沢市工、学院大附属
"団体女子 1位 学院大附属A 2位 金沢A 3位 金沢B、学院大附属B 優秀選手 中村美羽（学院大附属）、大西いろは（金沢）、 川端優希菜（金沢）、三崎せれな（学院大附属）"

◆令和5年度 石川県高等学校総合体育大会柔道競技

R5/6/1～3 石川県立武道館

男子団体 優勝 津幡 2位 鶴来 3位 金沢学院大学附属 3位 金沢 女子団体 優勝 金沢学院大学附属 2位 金沢 3位 羽咋工業 3位 県立工業"	
男子個人	女子個人
60kg級 優勝 北野慎之祐（羽咋工業）	60kg級 優勝 北野慎之祐（羽咋工業）
66kg級 優勝 丸田 大道（金沢）	66kg級 優勝 丸田 大道（金沢）
73kg級 優勝 喜多 雄大（津幡）	73kg級 優勝 喜多 雄大（津幡）
81kg級 優勝 森田 倅世（金沢）	81kg級 優勝 森田 倅世（金沢）
90kg級 優勝 岡田凰之介（津幡）	90kg級 優勝 岡田凰之介（津幡）
100kg級 優勝 浅田 俊輔（津幡）	100kg級 優勝 浅田 俊輔（津幡）
100kg超級 優勝 生田 恵樹（津幡）	100kg超級 優勝 生田 恵樹（津幡）

大会成績

〈 高 校 生 〉

◆令和5年度 北信越高等学校総合体育大会柔道競技

R5/6/17~18 福井県立武道館

男子団体 3位 津幡	女子団体 2位 津幡
男子個人	女子個人
60kg級 2位 廣瀬 大和 (津幡)	52kg級 3位 黒宮 美咲 (小松大谷)
66kg級 優勝 村上 亜塔 (津幡)	57kg級 3位 谷内 美裕 (鶴来)
3位 倉又 蓮 (津幡)	63kg級 2位 大河内結衣 (金沢)
3位 野澤 敦貴 (津幡) "	78kg級 3位 林 弘華 (津幡)
73kg級 優勝 倉又 龍心 (津幡)	78kg超級 優勝 林 莉帆 (津幡)
81kg級 2位 藤岡 響基 (羽咋)	
90kg級 3位 堀 隼陽人 (津幡)	
100kg級 2位 松井颯士朗 (津幡)	

◆令和5年度 全国高等学校総合体育大会柔道競技

R5/8/8~12 北海道きたえる (北海道)

男子団体 津幡 2回戦敗退	女子団体 津幡 3回戦敗退
男子個人	女子個人
60kg級 優勝 廣瀬 大和 (津幡) 3回戦敗退	48kg級 優勝 山崎 吏乃 (津幡) 2回戦敗退
66kg級 優勝 野澤 敦貴 (津幡) 2回戦敗退	52kg級 優勝 新木 美紅 (津幡) 1回戦敗退
73kg級 優勝 倉又 龍心 (津幡) 1回戦敗退	57kg級 優勝 谷内 美裕 (鶴来) 2回戦敗退
81kg級 優勝 山森 裕翔 (津幡) 1回戦敗退	63kg級 優勝 桑原 心胡 (津幡) 3回戦敗退
90kg級 優勝 堀 隼陽人 (津幡) 2回戦敗退	70kg級 優勝 中野里緒菜 (金沢) 1回戦敗退
100kg級 優勝 松井颯士朗 (津幡) 1回戦敗退	78kg級 優勝 林 弘華 (津幡) 2回戦敗退
100kg超級 優勝 生田恵樹 (津幡) 1回戦敗退	78kg超級 優勝 林 莉帆 (津幡) 1回戦敗退

◆令和5年度 石川県高等学校新人体育大会柔道競技

R5/11/9~11 石川県立武道館

男子団体 優勝 津幡 2位 金沢 3位 県立工業 3位 小松大谷 女子団体 優勝 金沢学院大学附属 2位 金沢 3位 鶴来	
男子個人	女子個人
60kg級 優勝 北野慎之介 (羽咋工業)	48kg級 優勝 山崎 吏乃 (津幡)
66kg級 優勝 丸田 大道 (金沢)	52kg級 優勝 黒宮 美咲 (小松大谷)
73kg級 優勝 國本 宙良 (鶴来)	57kg級 優勝 遠塚谷 文 (津幡)
81kg級 優勝 水道 哲兵 (羽咋工業)	63kg級 優勝 桑原 心胡 (津幡)
90kg級 優勝 岡田凰之介 (津幡)	70kg級 優勝 中野里緒菜 (金沢)
100kg級 優勝 浅田 峻輔 (津幡)	78kg級 優勝 林 弘華 (津幡)
100kg超級 優勝 生田 恵樹 (津幡)	78kg超級 優勝 林 莉帆 (津幡)

◆令和6年度 北信越高等学校総合体育大会柔道競技

R6/6/15~16 アルビス小杉総合体育センター

男子団体 3位 津幡	女子団体 2位 津幡、鶴来
男子個人	女子個人
60kg級 2位 北野慎之介 (羽咋工業)	52kg級 3位 福田 真唯 (学院大附属)
66kg級 3位 丸田 大道 (金沢)	3位 寺井 咲希 (羽咋工業)
73kg級 2位 喜多 雄大 (津幡)	57kg級 3位 松本 日和 (学院大附属)
3位 中居優太郎 (津幡)	78kg超級 3位 中村 美羽 (学院大附属)
3位 吉澤 大暉 (学院大附属)	
81kg級 3位 岩崎 世昌 (学院大附属)	

◆令和6年度 全国高等学校総合体育大会柔道競技

R6/8/10~14 レゾナック武道スポーツセンター (大分県)

男子団体 津端 1回戦敗退	女子団体 金沢学院大学附属 1回戦敗退
男子個人	女子個人
60kg級 優勝 北野慎之祐 (羽咋工業) 1回戦敗退	48kg級 優勝 大西いろは (金沢) 2回戦敗退
66kg級 優勝 丸田 大道 (金沢) 2回戦敗退	52kg級 優勝 福田 真唯 (学院大附属) 1回戦敗退
73kg級 優勝 喜多 雄大 (津幡) 1回戦敗退	57kg級 優勝 西結穂 (金沢) 1回戦敗退
81kg級 優勝 森田 倅世 (金沢) 2回戦敗退	63kg級 優勝 大河内結衣 (金沢) 1回戦敗退
90kg級 優勝 岡田凰之介 (津幡) 2回戦敗退	70kg級 優勝 水道 愛奈 (羽咋工業) 1回戦敗退
100kg級 優勝 浅田 俊輔 (津幡) 1回戦敗退	78kg級 優勝 東藤葵 (津幡) 2回戦敗退
100kg超級 優勝 生田 恵樹 (津幡) 1回戦敗退	78kg超級 優勝 中村 美羽 (学院大附属) 1回戦敗退

◆令和6年度 石川県高等学校新人体育大会柔道競技

R6/11/7~9 石川県立武道館

男子団体 1位 津幡 2位 日本航空石川 3位 県立工業、日本航空石川 女子団体 1位 津幡 2位 金沢 3位 小松大谷、金沢学院大附属	
男子個人	女子個人
60kg級 優勝 廣瀬 大和 (津幡)	48kg級 優勝 三崎せれな (学院大附属)
66kg級 優勝 野澤 敦貴 (津幡)	52kg級 優勝 寺井 咲希 (羽咋工業)
73kg級 優勝 倉又 龍心 (津幡)	57kg級 優勝 山崎 愛 (県立工業)
81kg級 優勝 山森 裕翔 (津幡)	63kg級 優勝 水道 愛奈 (羽咋工業)
90kg級 優勝 堀 隼陽人 (津幡)	70kg級 優勝 岩崎 花咲 (学院大附属)
100kg級 優勝 松井颯士朗 (津幡)	78kg級 優勝 山森 陽菜 (羽咋工業)
100kg超級 優勝 北村 逞 (金沢桜丘)	78kg超級 優勝 別所 咲希 (小松大谷)

審判委員長 太田弘人

日頃より、審判活動へのご理解・協力、誠に感謝しております。あらゆる競技(文化的なものも含む)において、審判員や審査員は必要不可欠であり、その質が悪ければ、大会に大きな影を落とす事になります。昨年夏に行われた、パリオリンピックでも、柔道だけではなく、様々な競技で、誤審や偏った判定により、選手だけではなく、その競技自体のイメージを悪くする場面が散見されました。

そんな中、本連盟主催の各種大会では、大きな誤審や重大事故もなく、この1年を無事に終えることができました。来年度はルールが大きく変わり、5月に行われる講道館講習までは、手探りの状態での審判活動となりますが、選手一人ひとりのために、公正で安全な審判を心がけていきたいと思っています。

どうか今年度も、皆様のご協力、よろしくお願いいたしますします。

コンプライアンス委員長 畔田博文

令和6年度よりコンプライアンス委員会委員長を務めます畔田（くろだ）と申します。よろしくお願いいたしますします。令和6年度において、コンプライアンス違反に関する報告は0件となっています。今後もこの状態が続くことを願うところです。令和7年度は、全柔連のオンライン研修に加えて倫理規定を公開していくなど、倫理について考え各自の意識を高める取り組みも進めていきたいと考えています。また、競技者における人権意識についても検討していきたいと考えています。柔道の目的である「精力善用」「自他共栄」を意識し取り組んでいきたいと思っています。ご理解とご協力よろしくお願いいたしますします。

普及振興委員長 上濃 達朗

普及振興委員会では、チャレンジマッチの開催に加え、少年団各チームに柔道の普及振興策についてのアンケートを取り、県内の柔道普及に関する現状把握に努めた。また、2022年度のアンケートと今年度のアンケート、長期育成指針の内容を軸に、県内柔道人口に関する提案を提出した。その他にも合同練習会や各道場の稽古に参加し、運動遊びを含んだメニューの伝播にも努めた。次年度は、策定した県内柔道人口に関する提案を元に、柔道を「始める」「続ける」ための機会の設定、特に小学生年代の柔道人口増加について積極的に取り組むたい。

安全指導委員長 野崎 健吾

県内ではここ数年、皆様のご尽力により重大事故等は発生していませんが、全国ではコロナ禍以降、頭部頸部を中心とした重大事故が増加しており、今年度は乱取り中の頭部打撲による死亡事故が1件発生しております。また、近年は成人の重大事故が増加傾向にあるとの報告もあります。

柔道の普及拡大には安全が大前提だと思います。指導者の方、大会運営に係る役員・審判員の方、ご家族の方々など、選手に係わる全ての人達が少しでも安全を意識すれば、柔道事故ゼロに近づくものと思います。地道な活動ではありますが、皆様今後ともどうぞよろしくお願いいたしますします。

強化委員長 川端 健司

2023-2024 年度における石川県勢の活躍として、全日本女子柔道選手権大会への出場（1名、6年連続）や、全国中学校柔道大会での3位入賞（男子3名）など、シニア・ジュニア両カテゴリーで好成績を収めました。一方で、国スポではブロック予選敗退により本大会への出場を逃したため、強化方法の見直しやふるさと選手の積極的な登用を進めていく方針です。さらに、2024年元日に発生した能登地震の影響により、十分な練習環境を確保できない選手もいることから、合同稽古などを通じた強化に努めてまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたしますします。

総務委員長 鈴木 貴士

初年度となる2024年度は、①意思決定方法の確立とその周知と徹底、②情報を最適な対象へ効率的に、③スケジュールの共有、④情報の伝達・吸い上げを迅速に、の4つの目標を立てました。

我々役員全ての人たちは専業ではなく、他にそれぞれ仕事やチームをもった中、連盟業務を行っています。いつの時代も「今の時代は前の時代より変化が速い」と言われ続けていますが、それは我々の世界でも一緒です。それぞれが大事にしている本質を維持していくために方法を変えていくことは重要なことだと思います。いつでも誰でもかまいません。ご意見をお寄せください。

審議委員長 堀 省吾

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登震災」により、被害に遭われた全ての皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、ご家族や大切な方々を亡くされた皆様に対して、お悔やみを申し上げます。

能登震災の影響により、当初は各種行事の中止や延期を余儀なくされましたが、皆様のご協力により、令和6年度に開催された昇段審査をはじめ、紅白試合、高段者大会等の各種行事が無事に開催できたことに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、年頭にあたり、審議委員会の活動としては、「昇段の勧奨」を重点的に取り組んでいくところであります。近年は少子化が進み、柔道人口は急速的に減少を迎えております。この減少に歯止めをかけるためには、いかに柔道が魅力的であるかを伝えていく必要があります。試合に勝利をして得る魅力は当然ありますが、試合にはなかなか勝利できなくても、昇段合格後に黒帯を巻いた自分の姿を思い描いて柔道に取り組むことも十分な魅力であると考えております。

昇段の魅力を皆様にお伝えできるよう頑張りますので、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

登録委員長 高村尚太郎

形本年度より、新登録システム Judo-Member がスタートしました。導入初年度で、操作に苦しんだ方も多いのではないでしょうか。各チーム登録作業を進めていただいたことに感謝申し上げます。Judo-Member を通して指導者、審判のオンデマンド講習を受講でき、便利な反面、各メンバーがそれぞれログインする必要があり、登録システムの活用力が必要となります。また、他県では Judo-Member を通しての大会申込も実施されています。県柔連全体で登録システムの理解と活用ができればと考えていますので、今後ともご理解、ご協力のほどお願いいたします。

能登復興特別委員長 南谷直利

2024年2月18日の石川県柔道連盟理事会において、中西茂宏会長直轄の本特別委員会が設置されました。1月の能登半島地震、輪島市火災、津波。6月の余震。9月の豪雨、水害。11月の余震。2025年2月の豪雪から現在まで。表現する適切な言葉が無く、涙だけが流れます。そして、これまで柔道家の多くの方々、関係団体からの義援金や御支援を頂きました。皆さんからの温かいお気持ちに対し、誠に心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。本特別委員会の活動を以下に示しました。

1. 全日本柔道少年団交流合宿派遣（3月、講道館）、
2. 能登地区少年柔道形講習会・合同練習会開催（8月、志賀町総合武道館）、
3. 日本大学練習会派遣（8月、日大柔道場）、
4. 羽田タートルサービス株式会社柔道教室開催（10月、羽咋市武道館）、
5. 全柔連アスリート委員会能登半島地震復興支援イベント開催（2025年3月、志賀町総合武道館）、
6. 選手・指導者への柔道衣支援（計44名分）、
7. 中学生大会の選手派遣と施設利用・活動の支援等。

競技委員長 宮本征克

日頃から大会運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

感染症対策が完全に撤廃され、2年が経とうとしています。コロナ禍においては大会出場者に減少が見られましたが、現在では各大会において以前のような活気が戻ってきました。

令和7年度からは新たな国際柔道連盟試合審判規定のもと、より積極的な柔道が展開されていくものと思われます。今後も選手が安心、安全に試合に集中できるような大会の運営に取り組んでいきます。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。